

わがまち紹介



小美玉市

「ひともの地域」が輝きはばたく
ダイヤモンドシティ

小美玉市の魅力は 交通インフラと農業

小美玉市の大きな魅力、強みの一つは、交通インフラが整備されていることです。茨城県内唯一の空港、茨城空港が立地するほか、常磐自動車道が市内を通り、東関東自動車道も近くを通っています。加えて市内をJR常磐線が通り、羽鳥駅があります。

茨城空港の旅客数はコロナ禍で一時落ち込みましたが、2023年度はほぼコロナ禍前の水準まで回復しています。

ただ、旅客数のさらなる増加と茨城空港の振興のネックになっていたのが、「1時間1便枠」という規制でした。この規制が2023年10月、弾力的運用により便数を増やすことが可能となっています。また、2024年5月にはプライベートジェットの運航もはじまり、あわせて茨城空港の活性化につながるものと期待しています。

もう一つの魅力は、自然豊かで土地が平坦なことです。それを活かした農業は本市の基幹産業になっており、生乳や鶏卵、レンコン、ニラ、イチゴなどの生産が盛んに行われています。



豊かな自然が小美玉市の財産

小美玉市新まちづくり構想

2023年度からスタートした「小美玉市第2次総合計画」後期基本計画の目指すまちづくりの将来像は、「『ひともの地域』が輝きはばたくダイヤモンドシティ～見つける。みがく。光をあてる。～」です。

この計画の中で、小美玉市の新時代を実現するための重点プロジェクトの一つとして「まちがにぎわう わいわいプロジェクト」があります。未来を見据えた拠点づくりや産業振興、基盤整備を通して、にぎわいと活力にあふれ、わいわい人が行き交うまちを目指すものですが、



株式会社筑波銀行
石岡支店長
海老根 洋一

小美玉市長
島田 幸三 氏

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとのつながりを深めるべく取り組んでいます。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県小美玉市です。筑波銀行石岡支店長 海老根 洋一が小美玉市長 島田 幸三氏にお話を伺いました。

それを具現化するため、2024年3月に「小美玉市新まちづくり構想」を策定しました。

この構想は、市内各エリアの特性を活かした整備を進め、新たな価値を創出し、それぞれの結びつきを深めることで、市内全域に「ひと」と「地域」の活力の好循環を促し、定住人口、関係人口、交流人口の拡大など、市の未来につながるまちづくりを進めるというものです。

構想に基づく具体的な事業として、まずは空の玄関口の「百里飛行場前」、陸の玄関口の「JR 羽鳥駅前」の新交流拠点の整備を進めます。

百里飛行場前では、茨城空港公園内に、健康づくりを支援する機能、自衛隊との交流を支援する機能、観光交流や市の魅力を発信する機能、地域の防災拠点機能などを備えた交流拠点施設を整備する計画です。

JR 羽鳥駅前については、公共施設のスリム化も兼ねて、3つの公民館を整理統合し、新たに駅東口の駅前広場に隣接する市有地に、生涯学習や子育てを支援する機能、図書館機能、茨城空港のPRや市の魅力を発信する機能などを備えた交流拠点施設を整備する計画です。

多様な主体が小美玉市の魅力を市内外に発信

小美玉市では、2020年3月に「小美玉市シティプロモーション指針」を策定しました。小美玉市を知人に推奨する人、小美玉市をより良くしようとする活動に参画する人、小美玉市のために頑張っている人に感謝する・応援する人を「地域の担い手」と定義し、増やしていくことが狙いです。

現在、市民が主体となって、地域への愛着や誇り、シビックプライドをより一層高めるために、本市の魅力を紙媒体や動画などを使って市内外に発信しています。

広報誌の写真撮影やデザイン、誌面作り、校正、市のPR動画の制作にはさまざまな市民の方にご協力をいただいています。市民がまちの取り組みに参画することで、まちを身近に感じていただき、行政にありがたい堅苦しいイメージを払拭できていると思っています。

おかげさまで、本市の広報紙やPR 動画は、全国や茨城県の広報コンクールにおいて、数々の賞をいただいています。

また、2021年度から新設された全国表彰「シティプロモーション アワード」で、本市が金賞を受賞しました。シティプロモーション事業を通して多様な主体が市の魅力を見つけ、市内外に発信していることが評価されました。

また、民間活力をさらに市政に取り入れようと、子育てや移住定住などの各分野の専門家を市が「地方創生アドバイザー」として委嘱し、7月から活動をはじめていただいています。



エシカル消費を特集して全国広報コンクールの広報紙部門で入選2席(第3位)を受賞した「広報おみたま2022年9月号」

企業誘致で雇用の創出、地域の活性化に期待

小美玉市第2次総合計画の基本目標の一つ、「仕事と暮らしを創造する環境づくり」のための主な施策として、茨城空港周辺地域への企業誘致を進めています。

具体的には、茨城空港の隣接地に航空業界で最大規模の総合航空サービスを幅広く展開する朝日航洋株式会社のヘリコプター整備工場を立地する計画であり、現在、茨城県から購入した約3ヘクタールの土地の造成工事に着手しています。また、多くの従業員が転入される予定であり、子育て世帯の増加や雇用の創出、地域の活性化を期待しています。

一方、既存の工業団地である「茨城空港テクノパーク」の現時点の進出企業は3社となっています。さらに、東関東自動車道水戸線が2025年度から2026年度にかけて潮来ICへ接続し全線開通する見込みとなり、企業側からの問い合わせが多く寄せられるようになりました。この工業団地への企業誘致が進めば、将来的に雇用が創出され、地域活性化に繋がるものと期待しています。

霞ヶ浦とサイクリングを軸とした観光の振興

小美玉市にとって、観光の振興も重要な施策の一つです。現在、霞ヶ浦とサイクリングを軸とした観光振興策を実施しています。

貴重な観光の財産である霞ヶ浦を活用して、2023年10月7日に「第1回おみたま花火大会」を開催しました。湖上花火のため、上だけでなく横にも打てるのが特徴で、約5,000発の花火が霞ヶ浦湖上の夜空を彩ったほか、ステージイベントや飲食店の出店もあり、約3万8,000人の方が来場されました。今後、本市に住む若い人たちが自慢できるイベントに育てていければと考えています。

もう一つは、人気の高いサイクリングを活用したにぎわいづくりです。茨城県は「サイクリング王国」を目指しており、県内にある数多くのサイクリングコースのうち、本市でも霞ヶ浦や茨城空港などが、その一部を担って



2023年10月7日に開催された「第1回おみたま花火大会」

います。

2024年5月には第1回のサイクリング大会、「『おみたまっ子』りんりんサイクリング」を開催しました。小美玉市の名所をめぐる3つのサイクリングコースを紹介するサイクリングマップも作成予定です。

2025年度には空のえき「そ・ら・ら」にサイクルステーションの整備を計画しています。小美玉市は茨城空港を起点に「つくば霞ヶ浦りんりんロード」「大洗・ひたち海滨シーサイドルート」の両コースにアクセスでき、比較的平坦な走りやすいコースであるため、幅広い層の利用を期待しています。

また、本市では台湾と2023年から「台湾友好交流事業」を行っています。台湾はスポーツバイクやロードバイクの一大生産拠点でサイクリングも盛んなお国柄です。2024年10月には新北市の行政区「淡水区」と友好交流覚書締結を予定しており、台湾からの観光客向けにサイクリングで本市を観光するようなコースの作成も検討しています。

もうかる農業の推進と 担い手不足の解消

小美玉市の基幹産業は農業で、2022年農業産出額は茨城県で3位、全国でも42位です。出荷額も重要ですが、農家が手にする所得をより重要だと考え、「もうかる農業」の推進に力を入れています。そのためには農産物の差別化、ブランド化が必要です。

2024年3月には「小美玉市農産物等ブランド化推進戦略」を策定しました。小美玉市らしさや独自性があり、かつ、品質や信頼性の高い農産物や加工品のブランド認定を行い、認定した農産物等の販路拡大を目指します。

また、生産から販売までを行う6次産業化の支援にも力を入れています。「茨城おみやげ大賞2019」で大賞を受賞した「でせ〜るふらん」などを製造販売している「小美玉ふるさと食品公社」に対して、商品の開発を支援しています。

さらに、スマート農業の推進に向けて、ICT 技術を



サイクリングを観光の軸の一つに

活用した農業経営を支援するため、2023年度から「先端技術導入支援事業補助金」制度を開始しました。ICTを活用した農業実践を進めるために必要な先端技術を導入する農業者を支援します。

農業の担い手不足の解消も重要な課題の一つです。そこで新規就農する際の煩雑な手続きを軽減するため、ワンストップ型の窓口を設置し、JAなどいろいろな機関と情報を共有することで、新規就農しやすい体制づくりを行っています。徐々に成果も出ており、さらに就農しやすい環境づくりを行っています。

“おみたまっ子”の未来をつくる

小美玉市は、本市の未来を担う子どもたちに寄り添いながら、「おみたまっ子応援パッケージ」としてさまざまな支援に取り組んでいます。

出会いから結婚・妊娠・出産・子育て・教育までのライフステージに応じて切れ目のない支援を一体的に実施しているのが特徴です。

2024年度は予算規模を拡大し、新規事業の開始や既存事業の拡充を実施しています。主な施策として0歳から18歳までの医療費無償化、第2子保育料の無償化、出産祝い金の拡充、6色から選べるランドセルの贈呈、中学校給食費の無償化などを行っています。

筑波銀行に期待すること

本市では魅力的な地域資源を活かしたまちづくりを推進していきますので、市内の企業への金融支援や販路拡大支援を引き続きお願いしたいです。

また、筑波銀行様には幅広いネットワークや多方面の分野に関する知見がありますので、本市にもまちづくりなどに関する情報を提供していただいて、一緒に地域の活性化に取り組んでいけたら良いと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(取材日:2024年5月28日)



わがまちの

ふるさと納税

小美玉市

小美玉市は農業が盛んで、生乳や鶏卵、レンコン、ニラ、イチゴなどの農産物や、その加工品が特産品になっています。そんな小美玉市の“美味しい”をお取り寄せしませんか。日用品やゴルフコースの利用券などの返礼品もあります。

干しいも【鶴田商店】

干しいもを作り続けて40年以上。鶴田商店の干しいもは、自然豊かな小美玉市で原料のさつまいもの生産から加工まで一貫生産。添加物を一切使用していない自然食品で、ネットリした甘さが味わえます。



プロフィットささみプロテインバー【株式会社丸善】

「手軽に美味しく取れるたんぱく質」をコンセプトに、鶏ささみを主原料に製品あたり約22gのたんぱく質が入っているシリーズ3品。店舗ではなかなか手に入らない限定商品で、目的にあった運動と組み合わせることにより、筋肉増強・ダイエット効果が期待できます。



太平洋クラブ美野里コース利用券【株式会社太平洋クラブ 美野里コース】

日本の伝統的な林間コースの趣の中にベントグリーンが配され、各ホールが一幅の絵のように美しく、全体的には戦略性の非常に高い、挑戦がいのあるコースの利用券です。全米女子プロゴルフ協会公式戦2023 TOTO ジャパンクラシックも開催されました。



NEWクレラップ【株式会社クレハ】

NEWクレラップは、熱に強く電子レンジから冷凍庫まで使える食品用ラップ。食品の酸化を防ぎ、みずみずしく新鮮に保ちます。V字刃の「クレハカット」採用でクルッと簡単にカットできます。



おみたまヨーグルト【株式会社小美玉ふるさと食品公社】

「酪農のまち」として知られる小美玉市産の新鮮な生乳を使用した濃厚で喉越しなめらかなドリンクヨーグルトです。



ふるさと納税や寄附の方法について詳しくはこちらから



Instagram



寄附の方法